



Digital Send
PDF Checker

Acrobat Pro DC用

プリフライトプラグイン

インストール／アップデートマニュアル

新聞・雑誌共通／macOS版



Digital Send

株式会社デジタルSEND

Ver.1.7

改版履歴

版数	改版日	内容
1.0版	2020/02/21	1.0版として作成
1.1版	2020/04/24	1.1版として更新
1.2版	2020/06/02	1.2版として更新 ■ 動作環境を追記
1.3版	2020/06/17	1.3版として更新 ■ ウイルス対策ソフトの検索除外設定を追記
1.4版	2021/05/28	1.4版として更新 ■ P1 動作環境を更新 ■ P2 プリフライトプロファイルのインストールは不要なため記述を削除
1.5版	2021/10/08	1.5版として更新 ■ P1 動作環境を更新
1.6版	2023/03/31	1.6版として更新 P2 実行前のmacOSの再起動、「デスクトップに表示する項目：外部ディスク」について、ウイルス対策ソフトの注意を追記
1.7版	2023/11/30	1.7版として更新 ■ P1 動作環境を更新 ■ P4 Acrobat 新UIが有効な場合の、プリフライトメニューについて追記 ■ P7 【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除を追記

内容

1 . 動作環境.....	1
2 . インストール.....	2
3 . ウイルス対策ソフトの検索除外設定.....	6
4 . 【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除.....	7
5 . アンインストール.....	10

1. 動作環境

- macOS

macOS 10.14 日本語版 Acrobat Pro DC 2022の最終バージョン

macOS 10.15 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 11 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 12 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 13 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

macOS 14 日本語版 Acrobat Pro DC 2023の最終バージョン

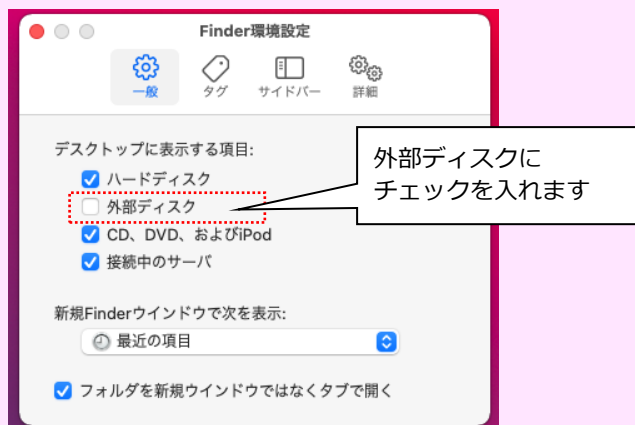
Acrobat Pro DCの動作保証している最終バージョン（Acrobat DC Classic(2017)を含む以前のバージョン／Adobe Acrobat Reader DCでは動作しません。）

※ Acrobat Pro DCの最終バージョン、アップデート方法については
アドビ システムズ株式会社のホームページをご参照ください

2. インストール

重要

- このインストーラーはmacOS版です。
- Acrobat Pro DCの最新版がインストールされていることをご確認ください。（Acrobat DC Classic (2017)を含む以前のバージョン／Adobe Acrobat Reader DCでは動作しません。）
- Acrobat Pro DCが起動中の場合は途中でエラーが発生します。インストール／アップデート前に必ずmacOSを再起動し、Acrobat Pro DCが未起動であることを確認後、実行してください。
- インストール先のmacOSユーザーで、Acrobat Pro DCを1度も起動していない場合には、起動⇒終了したのち、プラグインをインストールしてください。
- このプラグインを使用するmacOSのユーザーごとにインストールする必要があります。OSのユーザーを切り替えてご使用される場合には、ユーザーを切り替えたのち、再度インストールしてください。
- マウントしたdmgファイルをデスクトップに表示するために、Finderの環境設定より「デスクトップに表示する項目：外部ディスク」にチェックが入っていることをご確認ください。



- ご利用のセキュリティ対策ソフトの処理によって実行が制限されるケースがあります。その場合はセキュリティ対策ソフトを一時停止するなどの対処をお願いします。



DigitalSendAcrobatPlug-in
_Ver.X.X.dmg

ダウンロードしたZIPファイルを解凍し、「DigitalSendAcrobatPlug-in_Ver.X.X.dmg」をダブルクリックします。

※ファイル名のVer.X.Xはバージョンを表します。



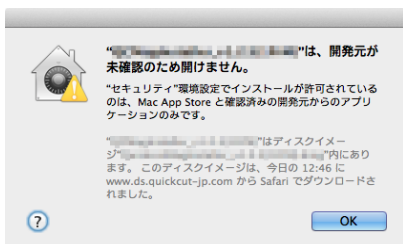
DigitalSendAcrobatPlug-in



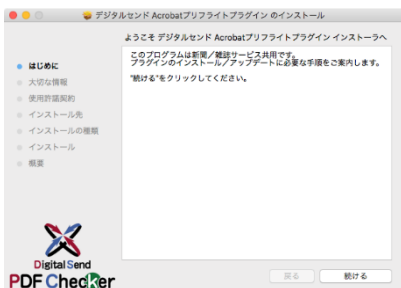
DigitalSendAcrobatPlug-in.pkg

デスクトップに「DigitalSendAcrobatPlug-in」がマウントされ、ウィンドウが自動的に開きます。

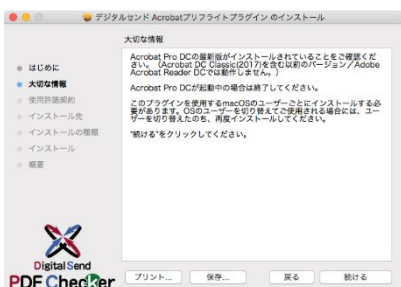
開いたウィンドウの「DigitalSendAcrobatPlug-in.pkg」をダブルクリックするとインストーラーが起動します。



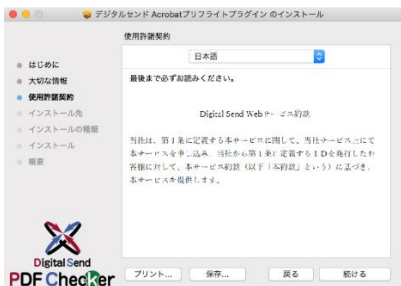
インストーラーを起動して左図のようなウィンドウが表示される時は、「OK」ボタンをクリックして閉じ、「DigitalSendAcrobatPlug-in.pkg」を「右クリック」⇒「開く」で、インストーラーを再実行してください。



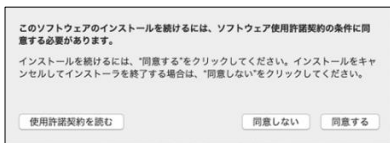
「続ける」ボタンをクリックします。



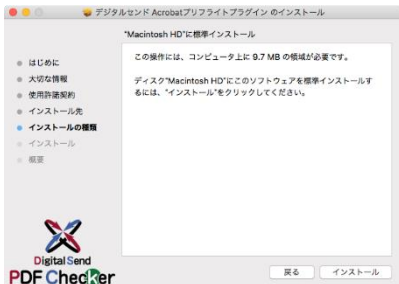
「続ける」ボタンをクリックします。



使用許諾契約を読んだのち、「続ける」ボタンをクリックします。



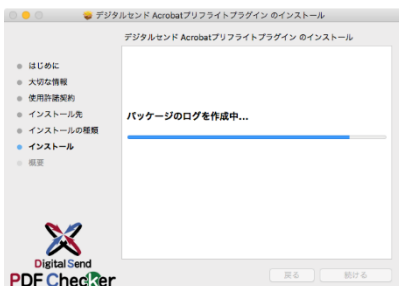
使用許諾契約に同意される場合には「同意する」ボタンをクリックします。



「インストール」ボタンをクリックします。



「macOS管理者」の「ユーザ名」「パスワード」を入力し、「ソフトウェアをインストール」ボタンをクリックします。



インストールが始まります。



「閉じる」ボタンをクリックしてインストールを終了します。



Acrobat Pro DCを開き、「DigitalSend」メニューが追加されていることを確認してください。

※Acrobat 新UIが有効な場合は「プラグイン」メニューの中に「DigitalSend」メニューが追加されます。

【macOS13以降のみ】



macOS13以降ではOSのセキュリティ機能により、ドロップレット（プリフライトに必要なアクションをアプリケーション化したもの）の、セキュリティ解除が必要です。

プラグインのインストール／アップデート後、プラグインを起動したときに左図のようなダイアログが表示されます。「OK」をクリック後、ドロップレットのセキュリティ解除を行ってください。



また、ドロップレットのセキュリティ解除を行わずにプリフライトを実行したときに左図のようなダイアログが表示されます。「キャンセル」をクリック後、ドロップレットのセキュリティ解除を行ってください。

詳しくは、「4. 【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除」を参照してください。



DigitalSendAcrobatPlug-in.log

デスクトップに「DigitalSendAcrobatPlug-in.log」が作成されています。インストーラーの、動作の詳細が書かれたファイルですが、必要ないのでゴミ箱に入れて削除してください。

以上で、プリフライトプラグインのインストール／アップデートは完了です。

3. ウイルス対策ソフトの検索除外設定

ウイルス対策ソフトによっては予測（ヒューリスティック）検索により、疑いありと検索結果が表示される場合があります。そのため、下記フォルダーを、ウイルス対策ソフトの検索除外に設定してください。

Macintosh HD/ユーザ/[使用ユーザー名]/DS

※/ユーザは /Usersと表示されているケースがあります

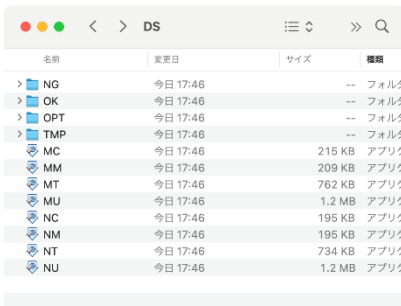
検索除外の設定手順については、使用中のウイルス対策ソフトのマニュアルをご参照ください。

4. 【macOS13以降のみ】ドロップレットのセキュリティ解除

Acrobat Pro DCを開き、「プラグイン（Acrobat 新UIが有効な場合）」⇒「DigitalSend」⇒「プリフライト」を選択します。

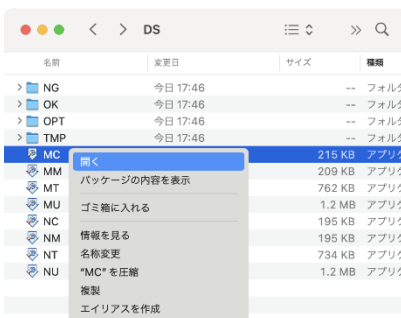


ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



「起動ディスク」⇒「ユーザ」⇒「（ユーザー名）」⇒「DS」フォルダーを開きます。

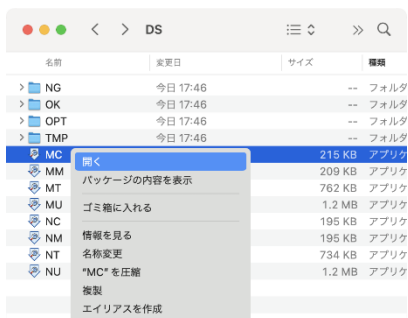
ドロップレットが8個（MC, MM, MT, MU, NC, NM, NT, NU）あるので、1つずつセキュリティ解除を行います。



右クリックし「開く」を選択します。（1回目）



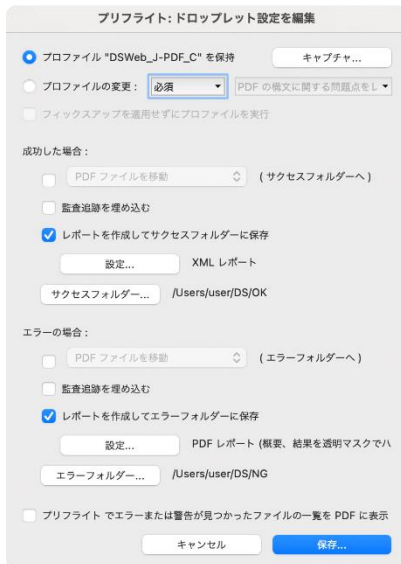
ダイアログが表示されるので、「キャンセル」ボタンをクリックします。



右クリックし「開く」を選択します。(2回目)



ダイアログが表示されるので、「開く」ボタンをクリックします。



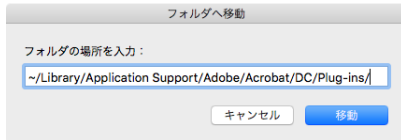
ドロップレット設定の編集画面が表示されるので、「キャンセル」ボタンをクリックします。

同様に、残りのドロップレットを右クリックで「開く」を選択し、セキュリティ解除の設定を行います。

セキュリティ解除の設定に問題がないかを確認したい場合は、各ドロップレットを右クリックで開いたときに、「"●●"は壊れているため開けません」というダイアログが表示されず、ドロップレット設定の編集画面が開けば設定は完了しています。「キャンセル」ボタンをクリックして編集画面を閉じます。

ドロップレットを誤って削除した場合は、Acrobatを再起動し、「プラグイン (Acrobat 新UIが有効な場合)」⇒「DigitalSend」⇒「プリフライト」を選択すると、再作成されます。

5. アンインストール



Finderの「移動」→「フォルダへ移動」メニューを開き、「~/Library/Application Support/Adobe/Acrobat/DC/Plug-ins/」と入力後、「移動」ボタンをクリックします。



dsPlugin.acroplugin

Acrobatが終了していることを確認し、dsPlugin.acropluginフォルダーを手動で削除します。

※アンインストールはOSのユーザーごとに行ってください。